

立教大学日本学研究所主催 国際会議

「日本と東アジアの〈環境文学〉」

期日 2018年7月28日(土)・29日(日)

会場 立教大学池袋キャンパス
太刀川記念館3階 カンファレンス・ルーム

対象 学生・教職員・一般

7月28日(土)

9:45 受付開始
10:00 開会の辞
10:10～12:00 基調講演
「日本と東アジアの〈環境文学〉」 小峯和明(中国人民大学・立教大学名誉教授)
「近世環境文学への視座——紀行文を中心に(付 六義園思考)」
渡辺憲司(自由学園最高学部長・立教大学名誉教授)
「四季の文化——二次的自然と社会」 ハレオ・シラネ(コロンビア大学)

12:00～13:30 昼食・休憩

13:30～15:45 シンポジウム
第1セッション「天体気象・四季と景観・身体」
「自然」不存在の文学——平安庭園論の一考察 イフォ・スミッツ(ライデン大学)
「胎内五位説と日本中世の心身論」 伊藤 聡(茨城大学)
「ベトナムの妖鷄」 大西和彦(ベトナム社会科学研究院)
コメンテーター: 馬 駿(北京第二外国語大学) 福田安典(日本女子大学)
マティアス・ハイエク(パリ・ディドロ大学)
司会: 原 克昭(立教大学) 出口久徳(立教新座中学・高等学校)

15:45～16:10 休憩

16:10～18:25 シンポジウム
第2セッション「災害、公害、怪異」
「地震」と「雷震」からみた11世紀～14世紀までのベトナムの災異の実態とその言説」 ファム・レ・フィ(ハノイ国家大学)
「水の怪異から見た自然環境と人間——日本中古の「天人相関」思想のあり方について」 司 志武(暨南大学)
「災害・怪異の歴史叙述——『太平記』を中心に」 目黒将史(立教大学)
コメンテーター: 水口幹記(藤女子大学) 松本真輔(長崎外国語大学)
趙 恩鶴(崇実大学校)
司会: 加藤 睦(立教大学) 金 英珠(韓国外国語大学校)

19:00～21:00 レセプション

7月29日(日)

10:00～12:15 シンポジウム
第3セッション「動植物の交感と食文化」
「お伽草子における物の〈精〉について」 伊藤慎吾(国際日本文化研究センター)
「南方熊楠と和歌山の食文化——郷土振興という側面から」 志村真幸(慶應義塾大学)
「お伽草子の食の風景」 塩川和広(立教大学大学院生)
コメンテーター: 李 銘敬(中国人民大学) 伊藤信博(椋山女学院大学)
郷間秀夫(栃木県農業大学校)
司会: 宮腰直人(山形大学) 加藤千恵(立教大学)

12:15～13:45 昼食・休憩

13:45～16:00 シンポジウム
第4セッション「異文化と環境」
「風水の環境論的反省と公共性——風水説話を中心に」 鄭 炳説(ソウル大学校)
「中国紀行と環境表現——近代日本人の中国紀行文を中心に」 王 成(清華大学)
「琉球の説話・歴史叙述と環境」 木村淳也(明治大学)
コメンテーター: 染谷智幸(茨城キリスト教大学) 樋口大祐(神戸大学)
グエン・ティ・オワイン(タンロン大学)
司会: 竹村信治(広島大学) 奥野克巳(立教大学)

16:00～16:20 休憩

16:20～18:00 ラウンドテーブル
「環境文学を問う」
司会: 千本英史(奈良女子大学)
講師: 劉 曉峰(清華大学) 沈 慶昊(高麗大学校) 金 文京(鶴見大学)
北條勝貴(上智大学) 田村義也(成城大学)

18:00～18:20 総括コメント
コメンテーター 野田研一(立教大学名誉教授)

18:20 閉会の辞

主催 立教大学日本学研究所

共催 立教大学日本文学会 後援 立教大学ESD研究所

助成 立教大学SFR国際会議助成

JSPS 科学研究費基盤研究(B)「16世紀前後の日本と東アジアの〈環境文学〉をめぐる総合的比較研究」
(課題番号16H03389 研究代表者:小峯和明)

問合先 鈴木 彰(立教大学文学部文学科日本文学専修教授・日本学研究所副所長) a.suzuki@rikkyo.ac.jp